

# 校長通信 調和

発行  
校長 寺島克彦  
〒384-0023  
小諸市東雲4-1-1  
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟

## 入学式&始業式(校長講話要約版)

### 本年度も小諸高校生全員が輝く年でありますように！

本年度も、元気いっぱいの新入生を迎え、新年度が始まり。生徒会役員の熱意がこもった歓迎会も行われ、新元号の新しい時代のスタートです。小諸高校生の益々の活躍を期待しています。

### 【平成 31 年度入学式・式辞から】

#### 「人と人が協力して、物事を成し遂げる力」をここで身に着けよう！

ここにいる皆さんは、「学ぶ場」としてここを選びました。情報機器が発達する現在、多くの学び方がある中で、なぜ従来の学校が存在するのでしょうか。考えたことはありませんか。なぜ学校に行くのか。

世界的ベストセラーとなっている、ユヴァル・ノア・ハラリ氏が書いた本、『ホモデウス』にはこんな一文があります。

「人類がこの惑星を支配するに至った決定的な要因は、多くの人間どうしを結びつける能力だった。ホモ・サピエンスが大勢で柔軟に協力できる地球上で唯一の種だからだ」と書いています。

「A I (Artificial Intelligence=人口知能) が人間の仕事を奪う」と良く言われます。しかしながら、A I は、人と人を結びつける道具にはなっても、相手の気持ちを理解し、無限の組み合わせである人間どうしを結び付け、目標に向かって協力して物事を成し遂げることは不可能であると思います。

また、新元号「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているとのこと。ぜひ、皆さんには「人と人が協力して、物事を成し遂げる力」を、この、小諸高校で身に着けてください。

また、皆さん自身を成長させるのは「考える力」に他なりません。

「考える」とは言語化することです。

皆さんが成長するためには、自分の理想の姿を言語化して、しっかりとイメージすることです。

今年も多くの皆さんの先輩が自身の描く姿を実現し、そのことを立証しています。

三年後の三月、あなたはどんな花を咲かせ、どんなことを始めようとして本校を卒業していくのでしょうか、ぜひ、今、しっかりと言語化してイメージしてください。

「伸びしろ無限大」の皆さんは何だってできます。必要なのは、明確なイメージと本気の努力です。

新入生の皆さんのこれからの学校生活が、これまで以上に充実したものとなり、三年後には確実にそれぞれの夢に向かって、大きく前進していることを、心から祈っています。



## 【平成31年度始業式・講話から】

「イメージする＝考える！」「本気でやる時間は今！」

令和のR「Respectし合える仲間！」

さあ、新年度のスタートです。

新年度のスタートにあたり、三つの話をします。

一つ目

終業式に話した、「自分の一年後、二年後」のイメージはできましたか、またそのイメージを言語化・言葉にできましたか。

一年後二年後がイメージ出来ないのなら、今やっていることのベストを言語化しよう。

全日本アンサンブルコンテストで金賞を獲得したメンバーの一人、3年生の塚野茜さんの言葉が朝日新聞で紹介されていました。「人前に出ることは苦手だけど『一步先』へ」

「一步先へ」とてもいい言葉ですね。そしてどんな事にも当てはまりますね。

「私は将来何やっていいかわからない」と悲観しないでください。そんなの当たり前です。だったら今やっていることのベストを行ってください。自分の言葉でベストをイメージして行動してください。

また、行動してダメだったら。ダメだ、無理、出来っこない。そういった感情に流されずに、しっかり考えてください。

悲観主義は気分によるもの、つまり感情。楽観主義は意思によるもの。とフランスの哲学者アランはそう言っています。「悲観は感情、楽観は意思」

「出来ない、出来ない」と感情に任せて諦めるのではなく、「なぜ出来ないのか、どうやったらできるようになるのか」考えてください。それが意思です。

新年度のスタートにあたって、小諸高校生にぜひやってほしいことの第一は「考える」ということです。

学習はもちろんのこと、生徒会活動や部活動でも、また友人との付き合いも、両親や兄弟など家庭のことも、よく考えてください。上手くいかなかったら、なぜ上手くいかないのかをよくよく考えてください。

考えることは必ず皆さんの力を大きく伸ばします。

もう一度言います。全てにおいて感情に任せず。よく考えて行動してください。

二つ目

どんな天才にも、しっかりと考えた後には「本気でやる時間」が必要です。

林修さんがなぜ「今でしょ」というか。私はこう考えます。

「何事も本気で取り組む時間が必要。そんな大事な時間を最も長くとるためには、今は始めることしかない。過去には戻れないのです」ということだと思えます。

三つ目

小諸高校生同士、尊敬し合える仲間になろう。ここにいる全員、それぞれに素晴らしいところを持っている。あなたには無い物、力を隣にいる仲間は持っているのです。

尊敬するということは、大切にすることにつながります。

仲間を大切に思わない集団に未来はありません。

「令和」のR、Respect。リスペクトし合える小諸高校になろう。

